

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	普通	強	指数
思索型	内閉性：社交意識が低い				58
	客観性：思考的思慮深い				42
活動型	身体性：機敏な・気軽な				43
	気分性：感情のまま行動				33
努力型	持続性：几帳面・忍耐力				63
	規則性：常識的・順法的				48
積極型	競争性：勝気な・積極的				41
	自尊心：気ぐらいが高い				41
自制型	慎重性：見通しをつける				61
	弱気さ：取越苦労・遠慮				49

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「自制・慎重性」であるが、「思索・内閉性」や「自制・弱気さ」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「自制・慎重性」の人のパーソナリティスケッチ
単調な作業であっても、飽きずに長時間こなせる持続性がある。努力と忍耐をもって、目標に向かっていくといった傾向がある。一事に没頭する徹底性がみられ、人からはそれがしつこいと思われることもあるほどで、夢中になると他のことには目がいかなくなるところがある。几帳面だが、ガンコで堅物との印象もあり、社会の秩序を乱す行動は慎み、通俗的な道德観の持ち主で、物事の判断もそれに沿ったものになる。とはいえ、規則やしきたりにこだわりすぎるといいうわけではなく、いつも普通の人でありたいと思う願望が常識的な行動をとらせている。また、状況を鵜呑みにせず、先が見えるまでアクションを起こさないという慎重さも本質のひとつである。感情を抑え、落ち着いた雰囲気信頼される。しかし、問題が起こったりすると、小さなミスでもいつまでも気にかけたり、他の人はとっくに忘れてしまうような失敗を、いつまでも忘れられず悩んだりするところもある。できることだけを小さくまとめるため、思いきった積極的な行動はしない。

●もう一方の性格特性
気分屋ではなく、情緒的には安定していて、いつも一定のリズムをもって生活している。手がけた仕事を途中で放りだすといった気分屋的なところがなく、発想も堅実である。感覚的な判断ではなく、理詰めな考え方をとる。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	普通	強	指数	
日常周辺事型				40	俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
客観・科学型				57	物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。
社会・経済型				57	社会情勢、世の中の出来事に関心があり、世事に明るい。
心理・情緒型				40	人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。
審美・芸術型				58	芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の正確さにやや欠けているが、全く信頼できないというほどの診断結果ではない。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	普通	強	指数
積極性				46
協調性				52
責任感				61
自己信頼性				47
指導性				50
共感性				47
感情安定性				57
従順性				50
自主性				47
モラトリアム傾向				41

自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つとする。

多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

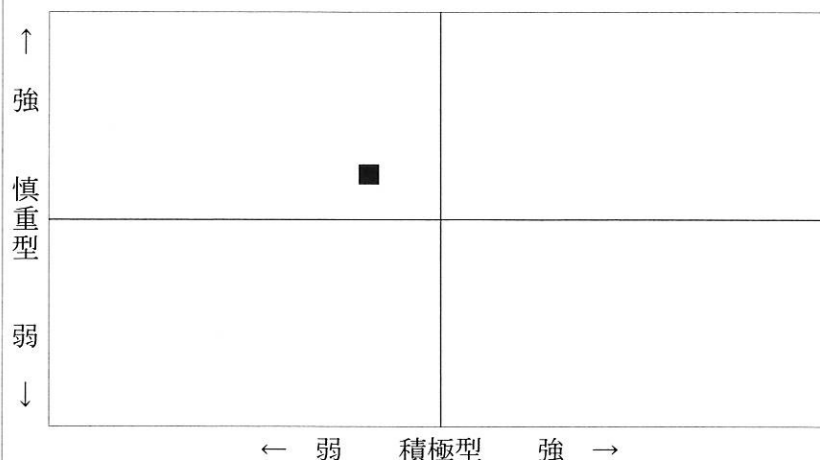
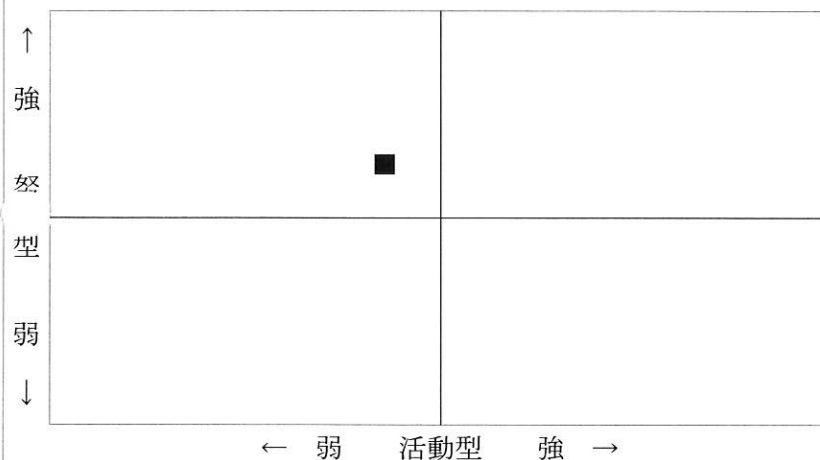
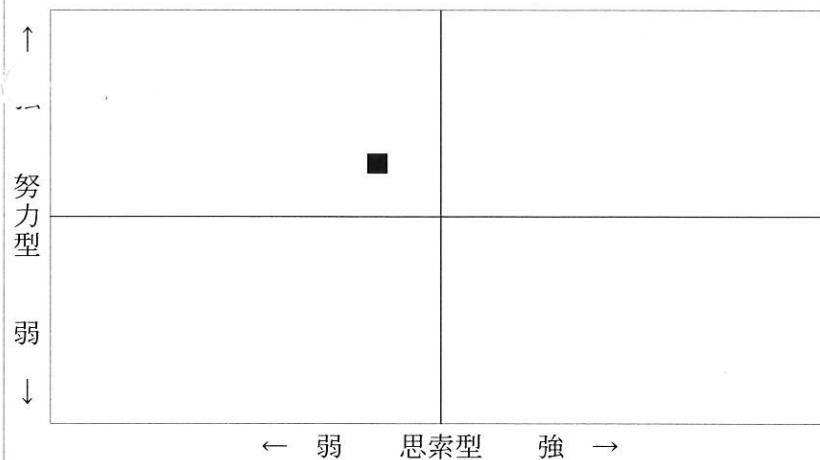
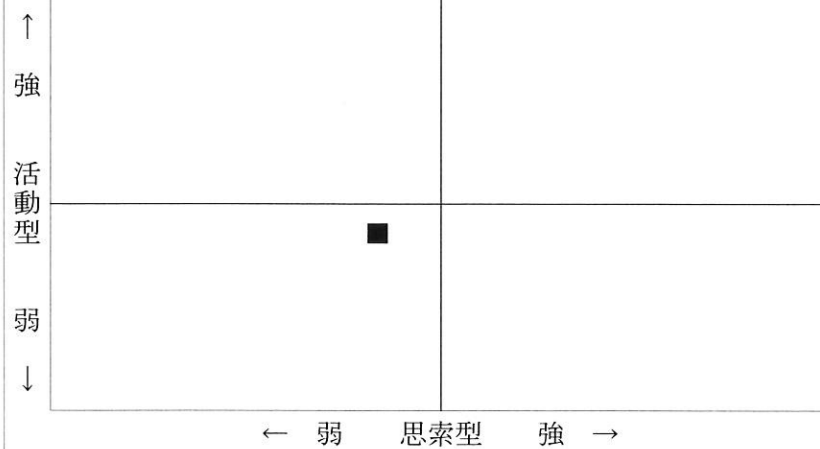
意欲の側面	弱	普通	強	指数
達成 欲求				49
親和 欲求				44
求知 欲求				47
顕示 欲求				48
秩序 欲求				52
物質的欲望				50
危機 耐性				57
自律 欲求				49
支配 欲求				49
勤労 意欲				47

逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。

■この人は「苦労を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群となっている。逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。

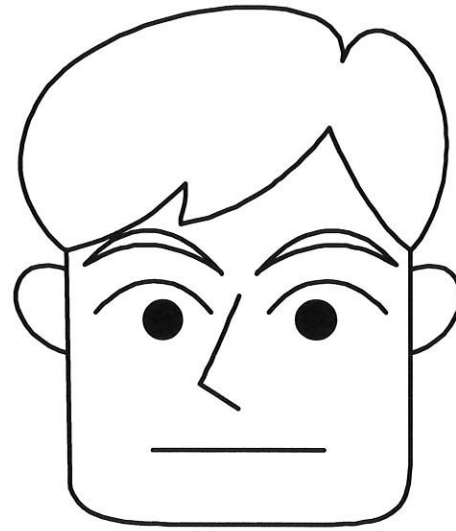
【本人の性格特性】

■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性	眉の傾き：従順性
瞳の直径：達成欲求	目の傾き：達成欲求＋求知欲求
鼻の高さ：顕示欲求	口の形状：親和欲求＋協調性
顔の輪郭：性格類型	
逆三角顔＝ 思索型	丸顔 ＝ 活動型
エラ顔 ＝ 積極型	角顔 ＝ 努力型
細長顔 ＝ 慎重型	



【自己評価】

意欲・ヤル気				管理・対人能力						思考能力					
積極 実行	意欲 熱意	根気 強さ	責任 感	決断 勇気	指導 力	リ ー ダ ー	自己 信頼	調整 力	折衝 力	独創 斬新	現状 分析	洞察 力	企画 立案	専門 知識	情報 活用
A	A	B	B	B	C	B	C	B	B	B	B	B	C	B	A
B				B						B					

【採用判定】

定着性・安定性 = 13

CUBICの判定結果=「配置先の検討必要」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 判定結果Eの上位3職務成績		75
(2) 一般的職場状況での可能性		56
(3) 海外など精神力の必要な職務		41
(4) 足腰のよさが武器になる職務		34
(5) 集中力、緻密さの必要な職務		63
(6) 標準化された仕事や工場労働		49

【判定結果B】 当人の傾向

「内勤型職務」 ◆ 「外勤型職務」
「組織型人間」 ◆ 「非組織人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適度」 研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (2) 「適度」 規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (3) 「小適」 音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (4) 「小適」 物を対象とする、具体的で実際の仕事
- (5) 「小適」 企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (6) 「努力」 営業など対人的接触をとるような仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適切」基礎研究者
- (2) 「適切」基礎研究管理者
- (3) 「適切」経理担当者
- (4) 「適切」経理管理者
- (5) 「適度」研究開発者
- (6) 「適度」研究管理者

《低い順》

- (1) 「努力」營業担当者
- (2) 「努力」營業管理者
- (3) 「努力」広報担当者
- (4) 「努力」広報管理者
- (5) 「小適」人事担当者

【判定結果E】 配置適性 2

- (1) 「適切」 経理課 管理
- (2) 「適切」 検査係り
- (3) 「適切」 基礎研究
- (4) 「適切」 商品管理
- (5) 「適切」 編集校正
- (6) 「適切」 研究開発

- (1) 「努力」 営業 積極型
- (2) 「努力」 営業 活動型
- (3) 「努力」 企画広報室
- (4) 「努力」 教育研修担当
- (5) 「努力」 顧客開発室